



日本列島では日本海側を中心に平年の2倍超の積雪が観測されていて、雪による被害(雪害)が各地で数多く報告されています。

その中でも特に屋根の雪下ろし中における被害が多く発生しているようです。また、降雪後の気温の上昇や降雨などによって、「なだれ」や「融雪」による災害が発生するおそれもあります。私は普段雪と接する機会が殆どないので雪の怖い一面が垣間見えました。

今月も環境関連ニュースをご案内致します。今後とも変わらぬお引き立ての程、よろしくお願ひ申し上げます。

国内ニュース



改正水質汚濁防止法全国説明会 3月7日から東京、名古屋、大阪で追加開催

改正水質汚濁防止法全国説明会が、環境省主催にて平成24年3月7日から東京、名古屋、大阪で、追加開催されます。

今回の説明会は、平成24年6月1日に施行される改正水質汚濁防止法により、有害物質による地下水の汚染を未然に防止するため、有害物質を使用・貯蔵等する施設の設置者に対し、地下浸透防止のための構造、設備及び使用の方法に関する基準の遵守、定期点検及び結果の記録・保存を義務付けられるのを受けて、法改正の内容や環境省がまとめる予定のマニュアルのポイントを解説するものとなっています。

既に事業者等対象に、平成24年2月から3月にかけて全国7箇所で開催されていますが、申込みが多かった東京、名古屋、大阪の3箇所において、追加開催することにしたものです。

開催日程等は以下のとおりとなっています。

- 大阪 3月7日(水) 14:00~16:00
市民活動プラザおおさか(東館)ホール(1階)
大阪市東淀川区東中島3-14-32 定員:約400名
※受付締切:2月29日(水)
- 名古屋 3月8日(木) 13:30~15:30
中村文化小劇場
名古屋市中村区中村町字茶ノ木25番地 定員約350名
※受付締切:3月1日(木)
- 東京 3月16日(金) 第1回 10:00~12:00、第2回 14:00~16:00
三田共用会議所 講堂(1階)
東京都港区三田2-1-8 定員約350名
※受付締切:3月9日(金)

参加希望者は、希望会場の受付締切日までに、参加申込みフォーム又はFAXにて参加登録することが必要となります。(先着順です)

○申込先

参加申込フォーム <https://fs219.xbit.jp/a957/form1/>

参加申込書(PDF) <http://www.env.go.jp/houdou/hgazou/14775/1646>

申込書送付先 FAX:03-3370-2017(改正水質汚濁防止法)

参加受付は、2月10日(金)AM9時からの予定です。それより以前は無効となってしまいます。ご注意ください。

平成23年度緑化優良工場として2工場を表彰へ



経済産業省は、平成23年度緑化優良工場等経済産業大臣表彰式を平成24年1月31日に東京港区の石垣記念ホールで開催し、周辺環境の向上に功績のあった2工場に対し表彰を行いました。

この表彰は、工場緑化を推進する目的で昭和57年度より実施しているもので、第30回にあたる今回の受賞者は、大塚製菓(株)袋井工場(静岡県)、(株)岡山村田製作所(岡山県)が選ばれました。

この内、(株)岡山村田製作所(岡山県)は、森の中の工場を目指し、緑地率は30%あります。専任の担当者を配置している他、社内に複数ある緑化グループによる取組みを行うなど、全社を挙げての美しい景観づくりに継続して取り組んでいます。緑地は、里山などゾーン分けを行いそれぞれにコンセプトを持たせ植栽を行っています。

また、地域との融和に力を入れ、地域の木としてウメガシ(旧邑久町木)・オリーブ(瀬戸内市木)・クロガネモチ(岡山市木)・アカマツ(岡山県木)・モモ(岡山県花)を植栽している他、地域古木の保存活動や敷地内のピオトープやフットサルコートの実施を行っています。特に、邑久町地域自然の復活をテーマに、ホテルの復活に力を入れ、地域住民や従業員家族に対しホテル観賞会を行っています。

これまでに全国で147の工場等が経済産業(通商産業)大臣賞として表彰されています。

受賞工場については、過去において経済産業局長表彰や財団法人日本緑化センター会長表彰を受けられた工場のうち、都道府県知事及び政令指定都市の長から推薦のあった工場に対して、現地調査の実施、外部専門家による審査会を経て、選考・決定されています。



環境NEWS LETTER



エコアクション21業種別ガイドライン取りまとまる

環境省は、平成24年1月31日までに「エコアクション21業種別ガイドライン」を策定し公表しました。エコアクション21は、中小企業を含む幅広い事業者が、自主的・積極的に行うための環境マネジメントシステムのことで、

今回の業種別ガイドラインは、平成23年6月に策定された「エコアクション21ガイドライン 2009年版(改訂版)」に基づき、「建設業者向け」、「産業廃棄物処理業者向け」、「食品関連事業者向け」及び「大学等高等教育機関向け」を策定しています。

なお、各業種別ガイドラインについては、準備が整いし下記の下記のHPにて公表される予定です。

<http://www.env.go.jp/policy/i-hiroba/04-5.html>

エコアクション21の特徴及び運用効果は次の通りです。

取り組みやすい環境経営システム
具体的な環境への取組
環境報告(環境コミュニケーション)



様々な問題の改善に役立つ
環境パフォーマンスの向上
省エネ・省資源・廃棄物削減などの取組
によるコスト削減
社会からの信頼を得て企業が発展

現在岡山県では**85件**(全国では**7078件**)認証・登録されています。弊社においては**企業ドメインに沿うものとして、いち早く認証取得し運用しています。**

平成23年度「次世代エネルギーパーク」計画 8件が認められる



経済産業省資源エネルギー庁は、平成23年度「次世代エネルギーパーク」計画に、地方公共団体等から応募のあった8件全てを認定したと発表しました。

「次世代エネルギーパーク」は、太陽光等の新エネルギー設備や体験施設等を整備し、新エネルギーをはじめとした次世代エネルギーについて実際に国民が見て触れる機会を増やすことを通じて地球環境と調和した将来の次世代エネルギーの在り方について国民の理解の増進を図ることを目的としたもので、平成22年度に8件、平成21年度に12件、平成20年度に7件、平成19年度では6件の計画が認められています。

今回、新たに認められた計画は以下8件で、これにより全国で41計画が認定を受けることになりました。

- [1]【北海道伊達市】伊達市次世代エネルギーパーク計画
- [2]【北海道芽室町】芽室町次世代エネルギーパーク
- [3]【山形県尾花沢市】尾花沢市次世代エネルギーパーク(大正ロマン再生可能エネルギーパーク)
- [4]【富山県富山市】富山市次世代エネルギーパーク
- [5]【山梨県】富士の国やまなし次世代エネルギーパーク
- [6]【広島県福山市】福山市次世代エネルギーパーク
- [7]【愛媛県】えひめ次世代エネルギーパーク
- [8]【長崎県平戸市】平戸市次世代エネルギーパーク計画

中四国の7ブロックで見ると2件の認定を含めて8件認定されたことになりました。

岡山県では真庭市が平成18年4月から活動を推進している「真庭市バイオマスタウン構想」の「バイオマス発電」「バイオマス熱利用」「バイオマス燃料製造」といったバイオマス関連設備等を対象に「バイオマスツアー真庭(地産エネルギーツアー)を観光ルート化し、平成19年に「次世代エネルギーパーク」計画認定を受けています。

この環境NEWS LETTERは、皆様方と情報交換や意見交換の場等になることをめざして、今後とも毎月発行していきます。また、充実した内容のものにすべく、ご意見・ご要望・情報等を是非、お寄せ下さい。

発行 (株)サンキョウ-エンビックス 環境NEWS LETTER編集チーム

〒700-0954 岡山市南区米倉66番地2 TEL(086)242-1035 FAX(086)242-1036

E-mail sankyo@sankyo-ltd.co.jp

URL <http://www.sankyo-ltd.co.jp>